No. 8 6 2014年12月18日 海労働組合 リニア反対プロジェク

多くの住民の意見を無視し強引に着こ 直ちに工事をやめろ

12月16日、リニア沿線住民や有識者など5千人以上がリニア建設中止を 求めて、国土交通省に『申立書』を提出しました。その翌日、JR東海は リニア中央新幹線の工事を強引に着工しました。総額9兆円以上を投資し ての赤字路線建設の始まりです。

原発の使用済み核燃料の行き場が無く建設したのと同様、リニアもトン ネル残土の廃棄場や水源などの問題が何ら解決されないまま着工したので す。環境破壊、経営破綻となった場合の責任は誰が取るのでしょうか?大 手を振って賛成してきた人たちよ、あなたたちは責任を取れるのでしょう

か。黙認してきた関係者も同罪です。

JR東海労は、断固抗議すると共に、エ 事の撤回を求めます。



ことや膨大な電力を使用し 建設残土の処理方法が不明な大きな影響を与える」と指摘

影響評価手続きが不十分であ 手渡した。記委員した の日は川村代表が、

2014.12.17『山梨日日』

イットワーク」 が提出を呼び

訴訟の摂起を検討する考えも (堀田博之) 〈共同〉





2014.12.18『静岡』

品川一名古屋 央新幹線の「工事安全祈願式」を、地下にターミナル駅をつくる品川、名古屋両駅でそれ 自社用地から実施 工事を本格化させる。 ぞれ開き、建設工事に着手した。国の基本計画から約40年を経て、45年の大阪までの全線 東J 海R

全が重要だ」と述べた。

住民向け事業説明会を 一交通省から着工認可

たい」との考えを示し た。品川駅の式典では 歩を踏み出し